



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月31日

上場会社名 キーウェアソリューションズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3799 URL http://www.keyware.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)三田 昌弘  
 問合せ先責任者 (役職名)経営企画部長兼広報IR室長 (氏名)後根 桂二 (TEL)03(3290)1111  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	7,415	7.2	△69	—	△67	—	△70	—
29年3月期第2四半期	6,917	△6.7	△246	—	△246	—	△261	—

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 △73百万円(—%) 29年3月期第2四半期 △405百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	△8.34	—
29年3月期第2四半期	△31.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	8,965	5,756	64.2
29年3月期	9,113	5,816	63.8

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 5,756百万円 29年3月期 5,816百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	4.1	250	175.5	200	40.0	150	63.1	17.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	9,110,000株	29年3月期	9,110,000株
② 期末自己株式数	607,599株	29年3月期	716,299株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	8,449,283株	29年3月期2Q	8,336,718株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用・所得環境の改善が続くなど、緩やかな回復基調にあったものの、海外経済の不確実性や地政学リスクの高まりにより、先行き不透明な状況が続きました。

当社が属する情報サービス産業につきましては、本年10月に経済産業省が発表した平成29年8月の特定サービス産業動態統計(確報)によれば、売上高合計は前年同月比0.2%減、また、当社グループの売上高の大部分を占める「受注ソフトウェア」は前年同月比2.2%減と、ともに減少となりました。

このような状況のもと当社グループは、3ヵ年中期経営計画「中期経営計画2015」の基本方針である「既存事業の収益性向上と安定化」、「ポートフォリオの多様化」、「経営基盤の整備、改革」に基づき取り組みを進めました。既存事業においては、大型請負案件の受注獲得に向けて積極的に営業活動を推進したほか、販路拡大に向け、新たなビジネスパートナーとの連携強化を進めました。併せて、高採算案件へ人員をシフトするなど採算性向上に取り組むとともに、組織横断的なプロジェクト管理を実施することで不採算プロジェクトを抑制し、収益性の向上をはかりました。事業ポートフォリオの多様化に向けては、農業ICTや医療・ヘルスケア領域のほか、生産性改善コンサルティングサービス「バーチャルサポートセンター(VSC)\*」といった新事業を推進しました。さらに、社員のスキル向上に向けて教育・研修の充実に引き続き取り組んだほか、情報系システムを刷新しコミュニケーションの円滑化をはかるなど、経営基盤の整備、改革に努めました。

※バーチャルサポートセンター(VSC)：

営業部門などのホワイトカラーを中心に、低付加価値のものから高付加価値のものへ業務を組み替えていくことで、お客様の生産性向上を実現させるコンサルティングサービス

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高は8,656百万円(前年同期比1,769百万円増、25.7%増)、売上高は7,415百万円(同498百万円増、7.2%増)、営業損失は69百万円(前年同期は246百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は70百万円(前年同期は261百万円の損失)となり、前年同期から大幅に改善いたしました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① システム開発事業

受注高は5,758百万円(前年同期比1,258百万円増、28.0%増)、売上高は4,686百万円(同170百万円増、3.8%増)、営業損失は0百万円(前年同期は73百万円の損失)となりました。

受注・売上高につきましては、第1四半期での運輸系の大型案件の獲得に加え、通信系の新規大型案件獲得、官庁系の案件拡大などにより、前年同期比で増加いたしました。損益面につきましては、売上高の増加に伴い損失はほぼ解消され、損益状況は大幅に改善いたしました。

#### ② S I 事業

受注高は1,841百万円(前年同期比283百万円増、18.2%増)、売上高は1,754百万円(同125百万円増、7.7%増)、営業利益は26百万円(前年同期は20百万円の損失)となりました。

ERP系の新規案件の獲得などにより、受注・売上高ともに前年同期比で増加となりました。損益面につきましては、売上高の増加に伴い損益状況は大幅に改善し、利益計上となりました。

#### ③ その他事業

受注高は1,057百万円(前年同期比226百万円増、27.3%増)、売上高は974百万円(同202百万円増、26.2%増)、営業損失は16百万円(前年同期は36百万円の損失)となりました。

受注・売上高につきましては、第1四半期に引き続きサポートサービス事業が好調であったことに加え、新事業における次世代医療の実証事業受託などにより、前年同期から大幅に増加いたしました。損益面につきましては、売上高の増加に伴い、損失を縮小させることができました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

#### ① 流動資産

流動資産残高は、5,473百万円(前連結会計年度末比61百万円減、1.1%減)となりました。主な増減要因は、現金及び預金の増加、受取手形及び売掛金の減少、仕掛品の増加であります。

#### ② 固定資産

固定資産残高は、3,491百万円(前連結会計年度末比86百万円減、2.4%減)となりました。主な減少要因は、のれんの減少、ソフトウェアの減少であります。

#### ③ 流動負債

流動負債残高は、2,661百万円(前連結会計年度末比135百万円増、5.4%増)となりました。主な増減要因は、短期借入金の増加、1年内返済予定の長期借入金の減少であります。

#### ④ 固定負債

固定負債残高は、547百万円(前連結会計年度末比223百万円減、29.0%減)となりました。主な減少要因は、長期借入金の減少であります。

#### ⑤ 純資産

純資産残高は、5,756百万円(前連結会計年度末比60百万円減、1.0%減)となりました。主な減少要因は、利益剰余金の減少であります。

### (キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、1,339百万円(前連結会計年度末比182百万円増、15.8%増)となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

#### ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金は、税金等調整前四半期純損失の計上(67百万円)、たな卸資産の増加(384百万円)、仕入債務の減少(82百万円)などがあつたものの、売上債権の減少(608百万円)などにより、259百万円の増加(前年同四半期は1,681百万円の増加)となりました。

#### ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金は、無形固定資産の取得による支出(19百万円)、関係会社株式の取得による支出(21百万円)などにより、40百万円の減少(前年同四半期は23百万円の減少)となりました。

#### ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金は、短期借入金の純増(300百万円)などがあつたものの、長期借入金の返済による支出(349百万円)などにより、35百万円の減少(前年同四半期は1,077百万円の減少)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において平成29年4月28日に公表いたしました内容から変更はありません。

なお、当社グループの売上高は、事業の性質からくる季節的変動により第4四半期連結会計期間に偏ることから、通期の業績予想に対し第2四半期連結累計期間の売上高および損益の割合が低くなっております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,156,921	1,339,576
受取手形及び売掛金	4,085,739	3,477,179
商品及び製品	28,482	76,221
仕掛品	107,725	444,484
その他	159,598	138,662
貸倒引当金	△3,499	△2,265
流動資産合計	5,534,968	5,473,860
固定資産		
有形固定資産	114,682	110,893
無形固定資産		
のれん	434,283	414,776
その他	356,177	300,367
無形固定資産合計	790,461	715,143
投資その他の資産		
投資有価証券	2,529,188	2,518,382
その他	144,875	147,920
貸倒引当金	△339	△339
投資その他の資産合計	2,673,724	2,665,963
固定資産合計	3,578,867	3,491,999
資産合計	9,113,835	8,965,860

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	780,691	698,510
短期借入金	-	300,000
1年内返済予定の長期借入金	603,330	478,330
未払法人税等	46,433	34,849
賞与引当金	527,323	526,093
その他	568,473	624,033
流動負債合計	2,526,253	2,661,817
固定負債		
長期借入金	634,368	410,004
資産除去債務	102,550	103,573
その他	34,383	34,327
固定負債合計	771,302	547,905
負債合計	3,297,555	3,209,722
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,737,237	1,737,237
資本剰余金	507,237	507,237
利益剰余金	3,763,219	3,650,267
自己株式	△215,338	△159,211
株主資本合計	5,792,355	5,735,530
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,484	36,711
退職給付に係る調整累計額	△8,560	△16,104
その他の包括利益累計額合計	23,924	20,606
純資産合計	5,816,279	5,756,137
負債純資産合計	9,113,835	8,965,860

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	6,917,450	7,415,503
売上原価	5,979,520	6,281,834
売上総利益	937,930	1,133,668
販売費及び一般管理費	1,184,835	1,203,318
営業損失(△)	△246,905	△69,650
営業外収益		
受取利息	7	32
受取配当金	1,195	1,207
持分法による投資利益	8,635	13,487
その他	11,041	17,070
営業外収益合計	20,879	31,797
営業外費用		
支払利息	9,760	6,011
支払手数料	7,555	22,555
その他	3,063	943
営業外費用合計	20,380	29,510
経常損失(△)	△246,405	△67,362
税金等調整前四半期純損失(△)	△246,405	△67,362
法人税等	15,505	3,078
四半期純損失(△)	△261,911	△70,440
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△261,911	△70,440



四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純損失(△)	△261,911	△70,440
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,356	502
持分法適用会社に対する持分相当額	△140,878	△3,819
その他の包括利益合計	△143,234	△3,317
四半期包括利益	△405,146	△73,758
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△405,146	△73,758
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△246,405	△67,362
減価償却費	76,067	75,183
のれん償却額	19,507	19,507
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△222	△1,234
受取利息及び受取配当金	△1,202	△1,240
支払利息	9,760	6,011
持分法による投資損益(△は益)	△8,635	△13,487
売上債権の増減額(△は増加)	2,266,613	608,559
たな卸資産の増減額(△は増加)	△180,582	△384,497
その他の資産の増減額(△は増加)	△1,486	23,889
仕入債務の増減額(△は減少)	△204,615	△82,181
賞与引当金の増減額(△は減少)	△28,064	△1,230
未払消費税等の増減額(△は減少)	△69,237	△64,693
その他の負債の増減額(△は減少)	13,333	122,441
その他	2,173	△4,912
小計	1,647,003	234,752
利息及び配当金の受取額	41,540	41,578
利息の支払額	△9,780	△6,027
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	2,390	△11,012
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,681,153	259,292
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,600	△4,620
無形固定資産の取得による支出	△22,875	△19,119
関係会社株式の取得による支出	-	△21,000
投資有価証券の売却による収入	6,537	7,800
その他	△3,861	△3,864
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,800	△40,803
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△800,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△261,927	△349,364
自己株式の売却による収入	26,179	56,127
配当金の支払額	△42,206	△42,597
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,077,954	△35,833
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	579,398	182,655
現金及び現金同等物の期首残高	885,320	1,156,921
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,464,718	1,339,576

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

(単位:千円)

	システム 開発事業	S I 事業	その他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への 売上高	4,516,843	1,628,767	771,839	6,917,450	—	6,917,450
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	130,092	364	216,899	347,355	△347,355	—
計	4,646,936	1,629,131	988,739	7,264,806	△347,355	6,917,450
セグメント利益 又は損失(△)	△73,670	△20,751	△36,260	△130,681	△116,223	△246,905

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△116,223千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

(単位:千円)

	システム 開発事業	S I 事業	その他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への 売上高	4,686,868	1,754,362	974,272	7,415,503	—	7,415,503
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	378,738	394	150,202	529,334	△529,334	—
計	5,065,606	1,754,756	1,124,474	7,944,838	△529,334	7,415,503
セグメント利益 又は損失(△)	△59	26,882	△16,018	10,804	△80,454	△69,650

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△80,454千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。